

P-6

自然発症高血圧ラットの血圧に対する釣藤鈎メタノールエキスおよびそのフェノール成分の作用

富山医科薬科大学・和漢薬研究所・生物試験部門、(株) ツムラ 漢方生薬研究所*

○趙 琦、榊原 巖*、渡辺裕司、村上孝寿、東田道久、松本欣三

【目的】釣藤散の構成生薬である釣藤鈎は「名医別録・下品」に記載される重要な漢薬のひとつであり、鎮静、鎮痙、眩暈、頭痛等に用いられてきた。釣藤鈎は自然発症高血圧ラット (SHR) において降圧作用を示すことが既に報告されている。今回、我々は釣藤鈎メタノールエキスおよびそのフェノール性成分が SHR の血圧に及ぼす作用を無麻酔下で検討した。

【方法】1) 実験動物: 10 週齢の雄性 SHR (日本エスエルシー株式会社, 静岡) を使用した。2) 実験薬物: 中国西北部産の S 型釣藤鈎 (*Uncaria sinensis*)、南東部産の R 型釣藤鈎 (*U. rhynchophylla*) 及び南部産の SR 型釣藤鈎 (*U. sinensis*) のメタノールエキス、SR 型釣藤鈎から分離したフェノールおよびアルカロイド画分、及びフェノール性成分 hyperin と epicatechin を使用した。3) 血圧の測定: Softron (BP-98) 式血圧記録計 (株式会社ソフトロン) を用いて、無麻酔下で非観血的に尾動脈血圧および瞬時心拍数を測定した。

【結果】R 型および SR 型釣藤鈎 (3.75~15mg/kg, p. o.) は著しい血圧降下作用を示したが S 型釣藤鈎は同用量では血圧降下作用を示さなかった。釣藤鈎メタノールエキスから調製したフェノール画分 (7.5 および 15mg/kg, p. o.) は弱い血圧下降作用を、同用量のアルカロイド画分は比較的強い血圧下降作用を示した。しかし、フェノール性成分である hyperin および epicatechin は 15mg/kg (p. o.) では降圧作用を示さなかった。

【考察・結論】釣藤鈎の血圧下降作用は、一般的には、そのアルカロイド成分に由来すると考えられているが、今回の結果ではフェノール画分にも作用が認められた。今後、hyperin や epicatechin 以外のフェノール性成分の影響を検討する必要がある。